

< 中之島中央公会堂 >



この建物は中之島のシンボルとして親しまれている。赤レンガの壁と青銅のドームとのコントラストが美しい建物は、ネオ・ルネッサンス様式の傑作のひとつであり、中之島の他の建築群と共に、美しい景観を呈している。

大正7年（1918年）11月に100万円の寄付をもとに建設され、地上3階地下1階で、1階の大集会場は2,000人を収容する大きさである。平成11年3月から平成14年9月まで、工費100億円を掛けて耐震構造への改造が行われ、今年から再使用が行われている。一度は描いてみたい建物であるが、正面を避けた方向から描いてみた。

（画と文 赤根 晴雄（機械・総技））